

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載
 【部門区分】第6部門第3区分
 【発行日】令和6年6月18日(2024.6.18)

【国際公開番号】WO2024/013912
 【出願番号】特願2022-577427(P2022-577427)

【国際特許分類】

G 0 5 B 19/05(2006.01)

G 0 5 B 23/02(2006.01)

G 0 8 C 15/06(2006.01)

H 0 4 L 43/04(2022.01)

10

【F I】

G 0 5 B 19/05 L

G 0 5 B 23/02 3 0 1 U

G 0 8 C 15/06 H

H 0 4 L 43/04

【手続補正書】

【提出日】令和4年12月15日(2022.12.15)

【手続補正1】

20

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

機器の制御に関する制御データをロギングするためのトリガを検出する複数の検出装置に接続される、プログラマブルコントローラのトリガ中継ユニットであって、

前記複数の検出装置のうちの第1検出装置から前記トリガを示す第1トリガ信号を受信する受信手段と、

30

前記受信手段によって前記第1トリガ信号が受信された場合に、前記第1検出装置とは異なる第2検出装置に、該第1トリガ信号を送信する送信手段と、を備え、

前記送信手段は、前記受信手段による前記第1トリガ信号の受信から前記送信手段による前記第1トリガ信号の送信が完了するまでに前記受信手段によって受信される、前記第1トリガ信号とは異なる第2トリガ信号については、送信の対象から除外する、

プログラマブルコントローラのトリガ中継ユニット。

【請求項2】

前記送信手段は、前記第2検出装置を含む2以上の前記検出装置に前記第1トリガ信号を送信する、

請求項1に記載のプログラマブルコントローラのトリガ中継ユニット。

40

【請求項3】

前記送信手段は、前記複数の検出装置に前記第1トリガ信号を送信する、

請求項1に記載のプログラマブルコントローラのトリガ中継ユニット。

【請求項4】

前記第1トリガ信号及び前記第2トリガ信号はそれぞれ、前記トリガを識別するためのトリガ識別情報を示す、

請求項1に記載のプログラマブルコントローラのトリガ中継ユニット。

【請求項5】

機器の制御に関する制御データをロギングするためのトリガを検出する複数の検出装置と、

50

前記複数の検出装置に接続される、請求項 1 から 4 のいずれか一項に記載のプログラマブルコントローラのトリガ中継ユニットと、
を備えるトリガ伝送システム。

【請求項 6】

プログラマブルコントローラのトリガ中継ユニットによって実行されるトリガ伝送方法であって、

受信手段が、機器の制御に関する制御データをロギングするためのトリガを検出する複数の検出装置のうちの第 1 検出装置から前記トリガを示す第 1 トリガ信号を受信し、

送信手段が、前記受信手段によって前記第 1 トリガ信号が受信された場合に、前記第 1 検出装置とは異なる第 2 検出装置に、該第 1 トリガ信号を送信する、

10

ことを含み、

前記送信手段は、前記受信手段による前記第 1 トリガ信号の受信から前記送信手段による前記第 1 トリガ信号の送信が完了するまでに前記受信手段によって受信される、前記第 1 トリガ信号とは異なる第 2 トリガ信号については、送信の対象から除外する、

トリガ伝送方法。

【請求項 7】

機器の制御に関する制御データをロギングするためのトリガを検出する複数の検出装置に接続される、プログラマブルコントローラのトリガ中継ユニットを、

前記複数の検出装置のうちの第 1 検出装置から前記トリガを示す第 1 トリガ信号を受信する受信手段、

20

前記受信手段によって前記第 1 トリガ信号が受信された場合に、前記第 1 検出装置とは異なる第 2 検出装置に、該第 1 トリガ信号を送信する送信手段、として機能させ、

前記送信手段は、前記受信手段による前記第 1 トリガ信号の受信から前記送信手段による前記第 1 トリガ信号の送信が完了するまでに前記受信手段によって受信される、前記第 1 トリガ信号とは異なる第 2 トリガ信号については、送信の対象から除外する、

プログラム。

30

40

50